

ききょう通信

Kobe Pharmaceutical University Press Vol.169

2019. 秋号

ききょう便り

「思考力」に磨きをかける教育を目指して

学長とランチを楽しむ 興子の部屋

2018年度

授業評価アンケートの結果報告

2017・2018年度 ベストティーチャー賞発表

研究室探訪 薬品化学研究室／微生物化学研究室

多様な奨学金制度

神薬ごよみ 〈MANABI白書〉〈Event Report〉〈Information〉

部活動レポート 硬式テニス部／EBM研究会

大学生生活ニュース ききょう祭

研究活動 受賞報告

薬学臨床教育・研究センター 横山 郁子 助手

エクステンションセンター／地域連携サテライトセンター



神戸薬科大学
Kobe Pharmaceutical University

「思考力」に磨きをかける教育を目指して

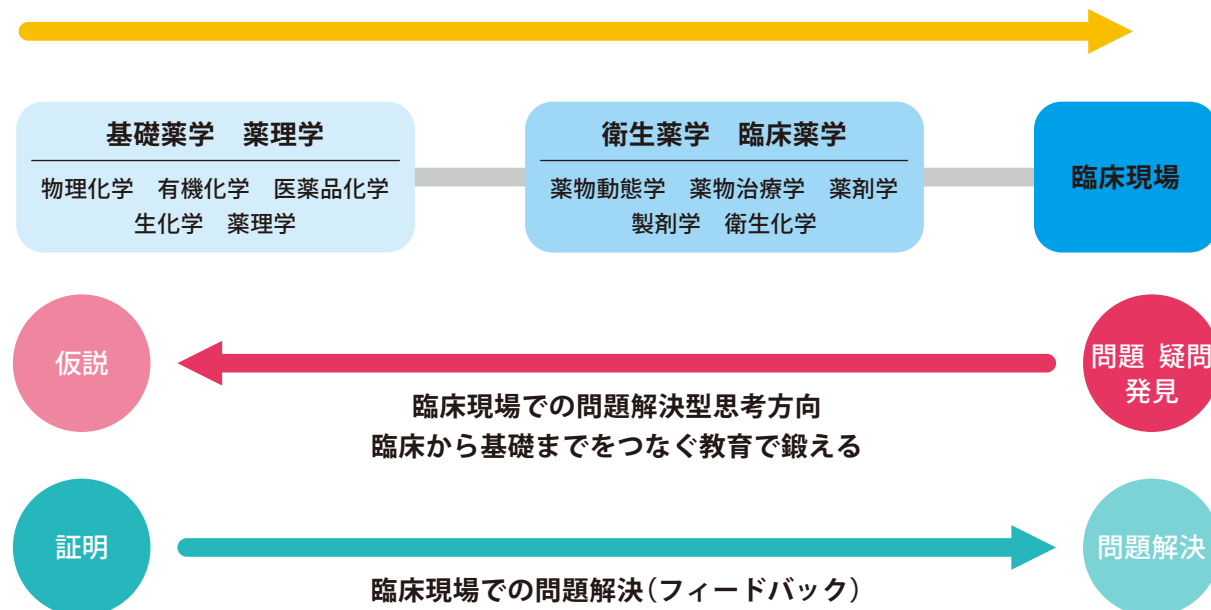
『ききょう通信』2019. 春号では「持続的な神戸薬科大学発展の仕組み」を示しましたが、その中でまず行わなければならないのは、教育のさらなる充実です。現在、本学学生がこれからの社会に貢献できる人材へと成長する教育体制の見直しを行っています。

薬学における教育と臨床現場での思考方向は図に示した通りです。大学における薬学専門教育科目の学修は基礎薬学から始まり、高学年になるにしたがって右方向に学修し、最後に臨床現場での実習に臨みます。社会人として臨床現場で発見した問題を解決するときには、反対に左方向の思考が求められます。基礎薬学分野で仮説を証明し、臨床現場にフィードバックすることは、患者さんへのよりよい薬物治療を提供することにつながります。基礎薬学までさかのぼるこの考え方は医療人の中でもこれらの分野を学修した薬剤師にしかできないことであり、その考察方法を利用すれば、医師と協力して患者さんに優しい薬物療法を提供していくことができると考えられます。



学長 宮田 興子

学修方向



このような薬剤師を育成するため、大学ではどのような教育をすれば良いのでしょうか。1つ目は、**各分野間の連携教育を行うこと**です。講義では、多くの科目を学修しますが、通常の講義では科目間の連携が十分には行われておりません。そのため、学生はその関連性がわからず、知識のみを詰め込んでいく傾向にあります。教育体制の見直しにより、この点を改良したいと考えています。2つ目は**学生が思考力を身につけること**です。知識を身につけると同時にそれを活用することができる思考力も身につけることで、卒業後、医師を始めとする他の医療人と協力して患者さんにとって最良の薬物治療を提供していくことができます。

今後、社会はAI時代を迎えることになると思いますが、時代に即した薬剤師業務をするためにも思考力が必要になります。卒業研究を始め**思考力を醸成することのできる教育体制を構築**していく予定です。

これらの教育を通じて、笑顔の絶えないキャンパスの中で学ぶ喜びを味わった学生たちから、卒業時に「神戸薬大で勉強して良かった!」と書いていただけるような大学に成長させたいと思っています。

学長とランチを楽しむ おきこ 興子の部屋

「興子の部屋」は宮田 興子学長とランチを楽しみながらいろいろな話をする会です。各自持ち寄ったお弁当を食べながら、気軽に参加できるこのランチ会は、学長就任時から積極的に学生との交流を図っている学長がホストとなり、学長室で開催しています。



11月18日(月曜日)に参加した学生に聞きました

「興子の部屋」でのひとは、いかがでしたか?

「何でも言って」とメモを取りながら私たちの要望を熱心に聞いてくださいました。こんな機会はなかなかありません!



5年 西岡 和さん



5年 桂田 結依さん

学長の学生への思いや大学の未来に対する考えがとても伝わりました。

思っていた以上に学生のことを考えてくださっていました。卒業後の進路を再考する機会にもなりました。



6年 吉野 美波さん

Vol.169 contents

- | | |
|-----------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1 ききょう便り「思考力」に磨きをかける教育を目指して
学長 宮田 興子 | 9 ご存じですか? 神戸薬科大学の多様な奨学金制度 |
| 2 学長とランチを楽しむ 興子の部屋 | 11 神薬ごよみ 〈MANABI白書〉〈Event Report〉〈Information〉 |
| 3 2018年度 授業評価アンケートの結果報告 | 17 部活動レポート 硬式テニス部/EBM研究会 |
| 5 2017・2018年度 ベストティーチャー賞発表 | 19 大学生生活ニュース ききょう祭 |
| 6 Twitter始めました! YouTubeどんどんアップしていきます! | 20 研究活動 受賞報告 薬学臨床教育・研究センター 横山 郁子 助手 |
| 7 研究室探訪 薬品化学研究室/微生物化学研究室 | 22 エクステンションセンター / 地域連携サテライトセンター |

2018年度 授業評価アンケートの結果報告

本学では、授業の改善を目的とした学生による「授業評価アンケート」を実施しています。「授業評価アンケート」は全学生を対象に行い、評価対象となる教員は専任教員及び非常勤講師です。2018年度授業評価アンケートの集計結果と解析結果の概要を以下の通り報告します。

FD委員会

※ FD…Faculty Developmentの略称。
教員が授業内容や方法を改善し、教育の質を向上させるために行う組織的な取り組み

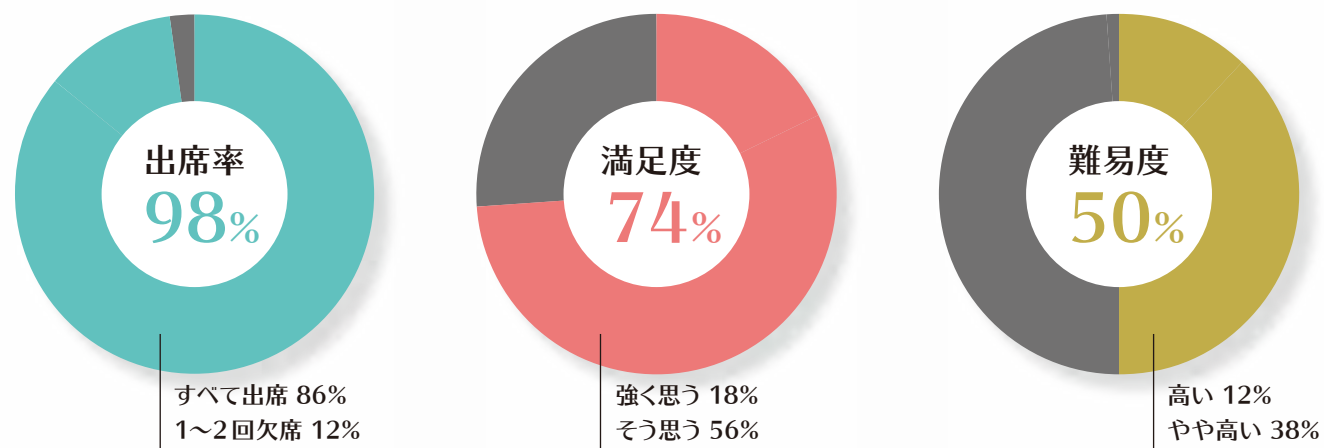
調査実施概要

調査年 ▶ 2018年 調査対象者 ▶ 学部学生 1,717名 回答者数／履修者数 ▶ 10,617名/15,810名 調査対象科目 ▶ おおむねすべての授業（実習科目・演習科目等を除く）

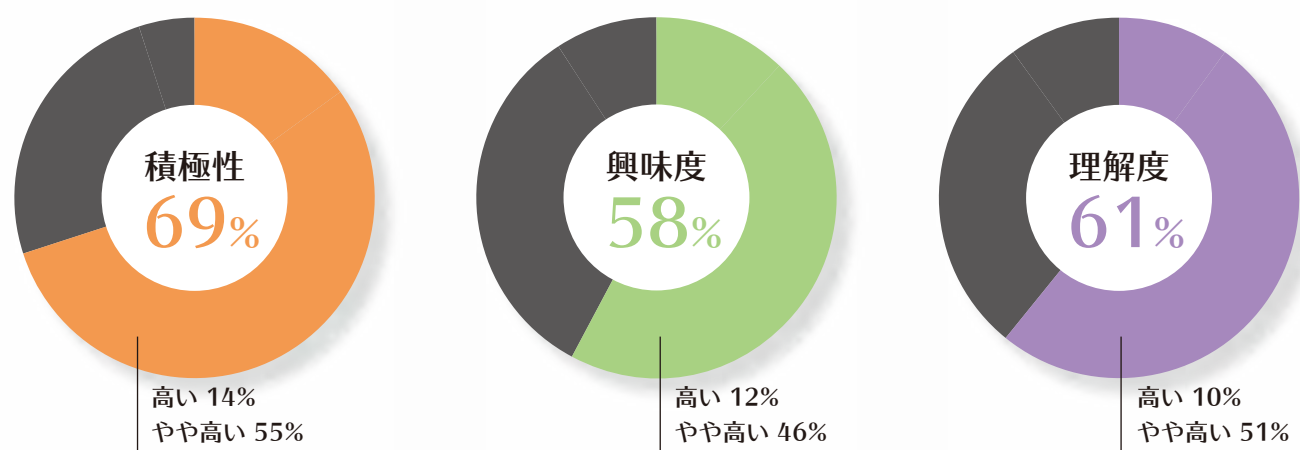
調査結果の要約

調査結果：授業について

学生のほぼ全員がすべての授業に出席。授業全体の満足度はやや高く、半数が授業内容が難しいと感じています。

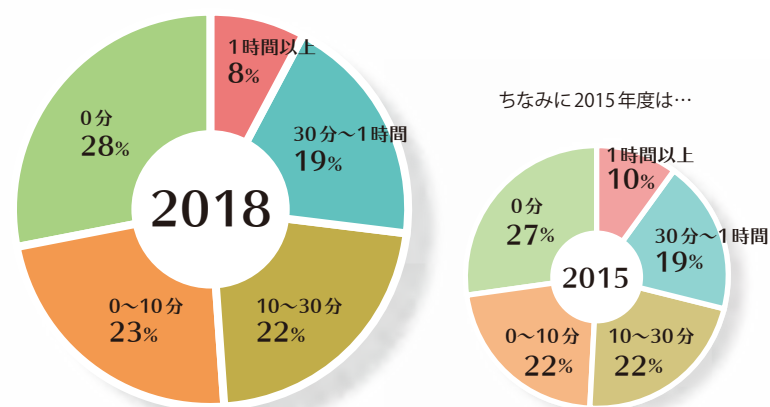


「普通」と答えた学生を含めると、90%以上の学生が、授業内容を理解し、興味を持って積極的に授業に取り組んでいるようです。



調査結果：勉強時間について

1 授業科目に対する予習・復習時間は？



調査結果：教員について

本学の教員が提供する授業に関して、学生はおおむね満足しているようです。

授業はシラバスに沿って進められましたか？ **3.9**

教員は授業中の迷惑行為（私語や携帯電話等）に適切な処置を取りましたか？ **3.7**

教員は授業に情熱をもって臨んでいましたか？ **4.1**

教員は学生の質問や意見に適切に対応していましたか？ **3.9**

数値は5点を満点とした評価の平均値

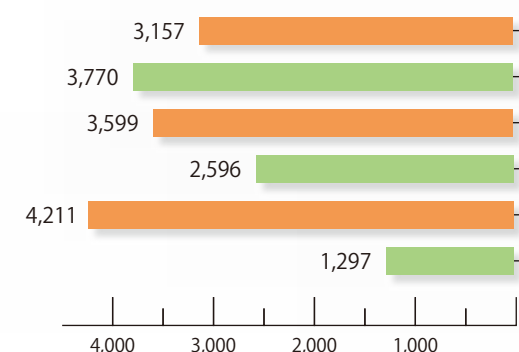
5：強く思う 4：そう思う 3：どちらともいえない 2：そう思わない 1：全くそう思わない



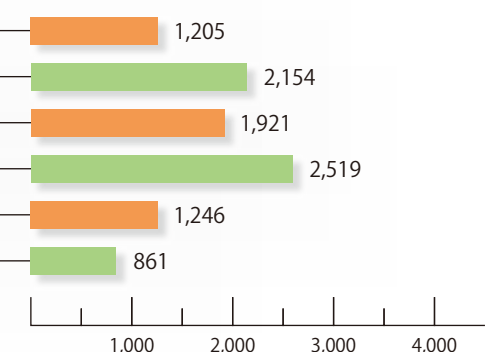
特に高い評価を受けた教員にベストティーチャー賞を授与しています。

▶ P.5

教員の教え方で優れていたところはどこですか



教員の教え方で工夫すべきところはどこですか



授業について	教員について
出席率 …………… 97%	シラバスに沿った授業 …………… 3.9
満足度 …………… 77%	迷惑行為の適切な処置 …………… 3.8
難易度 …………… 48%	情熱をもった授業 …………… 4.1
積極性 …………… 72%	質問への適切な対応 …………… 3.9
興味度 …………… 54%	
理解度 …………… 60%	

2017・2018年度 ベストティーチャー賞発表

ベストティーチャー賞とは、学生授業評価アンケートに基づき、FD委員会で審議の結果選出される、当該年度の指導力を学生から評価された教員に与えられるアワードです。2017・2018年度は玉巻 欣子 教授が受賞されました。

玉巻 欣子 教授 メッセージ

わかりやすく学べる授業の構築を目指して

臨床現場では社会の国際化に伴い、英語による疾病名や症状の知識、外国人患者さんとコミュニケーションを取るための医学英語力の重要性が増えています。私は将来、医療人としての活躍を求められている学生が、医学英語をわかりやすく学べる授業の構築を目指しています。授業に欧米のOSCEの練習動画やアメリカの医薬品パッケージなど実物教材を使用したり、ペアワークやグループでの会話練習を行う学生参加型授業を実施したりと、あの手この手で工夫を凝らしています。授業では語源に基づいた医学英語語彙学習や、効率的な医学英文論文の読み方もおさえます。グローバル社会の医療人として学生には幅広い英語力を身につけてほしいと考えています。

まじめで素直な神薬生

本学の学生は、とてもまじめで素直な人が多いと思います。「総合文化演習」という科目で「闘病記から医療を考える」というゼミも行っていますが、毎年学生の熱心さに感心しています。グループ発表に向けて自分たちでテーマを決め、侃侃諤諤（かんかんがくがく）と議論を重ね、一生懸命に意見を言っています。このような学生の姿勢は本学の誇れる点だと思います。

学生へのメッセージ～教科書以外の書物をできるだけ読んでほしい～

薬学の勉強のすきま時間を見つけて、教科書以外の書物に触れてください。読書は様々な世界を疑似体験でき、幅広い知識や視野を得ることができます。論理的思考力や文章力も読書によって涵養（かんよう）されます。皆さんの年代で異なる価値観を体験すると世界が広がります。機会があれば、海外にも出てほしいと思います。

図書館長でもある玉巻教授推薦！ 英語に親しめる本 **Strong Medicine**

私のイチオシは、アーサー・ヘイリー著 **Strong Medicine** という小説です。鋭い直感と才知に富んだ若き女性MRである主人公がカッコよくて、元気をくれること間違いなしです。新薬開発、薬害、OTC薬の扱いなど、現代にも通じる製薬業界の問題点も描き出されており、少々分厚くても苦にならないと思います。図書館には洋書も日本語版もあります。邦訳を読んでから英語を読むのもいいでしょう。在学中にこの本を読破することを目標にしてみてもいいかなと思います。



Strong Medicine
アーサー・ヘイリー 著
永井淳 訳
新潮社

英語版

日本語訳版

2018年度 授業評価アンケートの結果報告

Best
Teacher



玉巻 欣子 教授
(英語第二研究室)



Memo

2018年度
ベストティーチャー賞は
北川 裕之 副学長・教授
(生化学研究室)でした。



Twitter 始めました！ YouTube どんどんアップしていきます！

本学では、情報発信の一つとして2015年からYouTubeに「神戸薬科大学公式チャンネル」を設け、動画配信を行っています。また、このたび公式Twitterアカウントの運用を開始しました。イベント情報など学内の様々なことを発信していきます。

2019年9月から始めたTwitter。学生や卒業生、本学に進学を考えている高校生など、あらゆる方に広く楽しんでいただける情報配信を目指します。

アカウントをお持ちでない方は下記から閲覧できます。

神戸薬科大学公式Twitter
Twitterアカウント @kobe_pharma
URL https://twitter.com/kobe_pharma

パソコンイメージ

フォローしてね

YouTube

検索 神戸薬科大学 youtube



パソコンイメージ

「出会いと学びがここからはじまる」



パンフレットではわからない
学内の雰囲気を知っていただけます。

「ふたりの神薬生 ～2018秋～」



「空から見るキャンパス」





薬品化学研究室

【スタッフ】 上田 昌史 教授 武田 紀彦 講師 安井 基博 助教
【学 生】 4年:14名 5年:14名 6年:12名



2月に行ったゼミ旅行 in 天橋立



微生物化学研究室

【スタッフ】 小西 守周 教授 中山 喜明 准教授 増田 有紀 講師 迎 武紘 特任助教
【学 生】 4年:14名 5年:15名 6年:16名

研究
テーマ

**細胞が他の細胞に情報を伝える
「細胞外分泌因子」の役割を研究**

人間はたくさんの細胞が集まり一つの個体を作る多細胞生物です。我々は多細胞生物において、それぞれの細胞が他の細胞に情報を伝える手段の一つである「細胞外分泌因子」の体における役割を研究しています。現在は「細胞外分泌因子」の中で、我々が新しく同定したNeudesinやFgf21という分子に着目して、主にエネルギー代謝や免疫機能、がんの進展とのかかわりを明らかにしようとしています。

社会人として活躍するために必要な能力をもつ学生を育てる

論理的な思考力をもつ学生を育てています。それに加えて、他人の意見や客観的事実をもとに自分の意見を出し、それを口頭あるいは文章で発信できるようになってほしいと願います。これらの力は、どんな分野であっても社会人として活躍するために必要な能力です。

研究室の

雰囲気は…

活発で好奇心旺盛の学生が多いのが特長です。いつも仲良く、楽しそうです。研究活動では、メリハリをもって、お互いに得意分野を教え合いながら、真剣に取り組んでいます。積極的に学会発表をしてくれるなど、とても頼もしい学生たちです。(中山准教授)



小西 教授

**小西先生は
人生の師匠です！**



6年 岡田 瞳美さん

常に「学生ファースト」の先生です。普段の勉強や研究のほかにも国家試験に向けた勉強について、一人ひとりに声をかけてくださるので、皆励みになります。私は先生の他者を思いやる心を尊敬しており、自分もそうありたいと思わせてくださいます。

研究
テーマ

**有機合成化学を駆使し、
人類の役に立つ新しい化合物を創製**

薬品化学研究室では有機合成化学を駆使し、薬の種となるような人類の役に立つ新しい化合物を創製しています。また、それらを創るための手法(新反応)の開発も行っており、従来法では合成できなかった化合物を創る反応の開発や、低コストで、かつ環境に負荷を与えない新反応を開発する研究を行っています。

「研究活動は学生が主役」を念頭に置いた指導を心がける

「考える力」や「問題抽出・解決能力」「研究マインド」を備え、高い思考力をもった人材を養成します。そのために、研究活動は学生が主役であることを念頭に置き、学生が主体的に研究を進められるように心がけて指導しています。

週に1回は必ず研究室で勉強会をしています。関西地区で行われる学会やセミナーには、研究室全員で参加しており、学会発表する学生もいます。

研究室の

雰囲気は…

学生たちはみんな仲が良かったです。研究に対するモチベーションが高く、教員と一緒に実験結果に一喜一憂しながら日々実験に励んでいます。(武田講師)



上田 教授

**気さくで
愛嬌たっぷりの
先生です**



5年 長谷川 万輝さん

空に虹が出ているのを見つけた先生。「ほら！虹が出ている!!」と教授室から飛出して知らせてくださいました。研究にストイックな先生の、少年のようなキラキラしたあのときの笑顔が忘れられません。



ご存じですか? 神戸薬科大学の 多様な奨学金制度

一人でも多くの学生が、経済的・精神的に豊かな学生生活を送るとともに、安心して学業に専念できることを目指し、2018年度より奨学金制度の充実を図りました。奨学金制度を有効に活用し、充実した学生生活を送る学生を紹介します。

※神戸薬科大学奨学金 奨学生証授与式を開催しました※

本学では成績優秀者に対し、給付型奨学金を支給しています。

2019年7月4日(木)

2～4年次生 授与式
(60名)



2019年8月21日(水)

5・6年次生 授与式
(40名)



2019年11月18日(月)

1年次生 授与式
(20名)



宮田 興子 学長 学生代表 宮武 健次郎 理事長

奨学生メッセージ



3年 福永 優平さん

奨学金をいただいたことにより、学業に専念できています。これから新たな友人づくりやインターンシップ、アルバイトなどにもチャレンジして、将来の選択肢を広げていきたいと考えています。大学で学んだ知識や得た経験を発揮できることはもちろん、薬剤師としての適性を持ったコミュニケーション能力のある人間を目指したいです。



5年 楠見 里紗さん

奨学金は試験勉強を頑張るモチベーションになっています。いただいた奨学金は、クラブ活動など学生生活で発生する様々な費用に充てることができました。最近購入したノートパソコンを研究活動に利用しています。うれしいのは昨年からの制度が変わり金額が増えたことです。これから挑戦したいこともあるため、高い成績を維持できるよう勉強も研究も励みます。

詳しくはホームページで
紹介しています ▶



トップページの
このバナーをクリック ▶

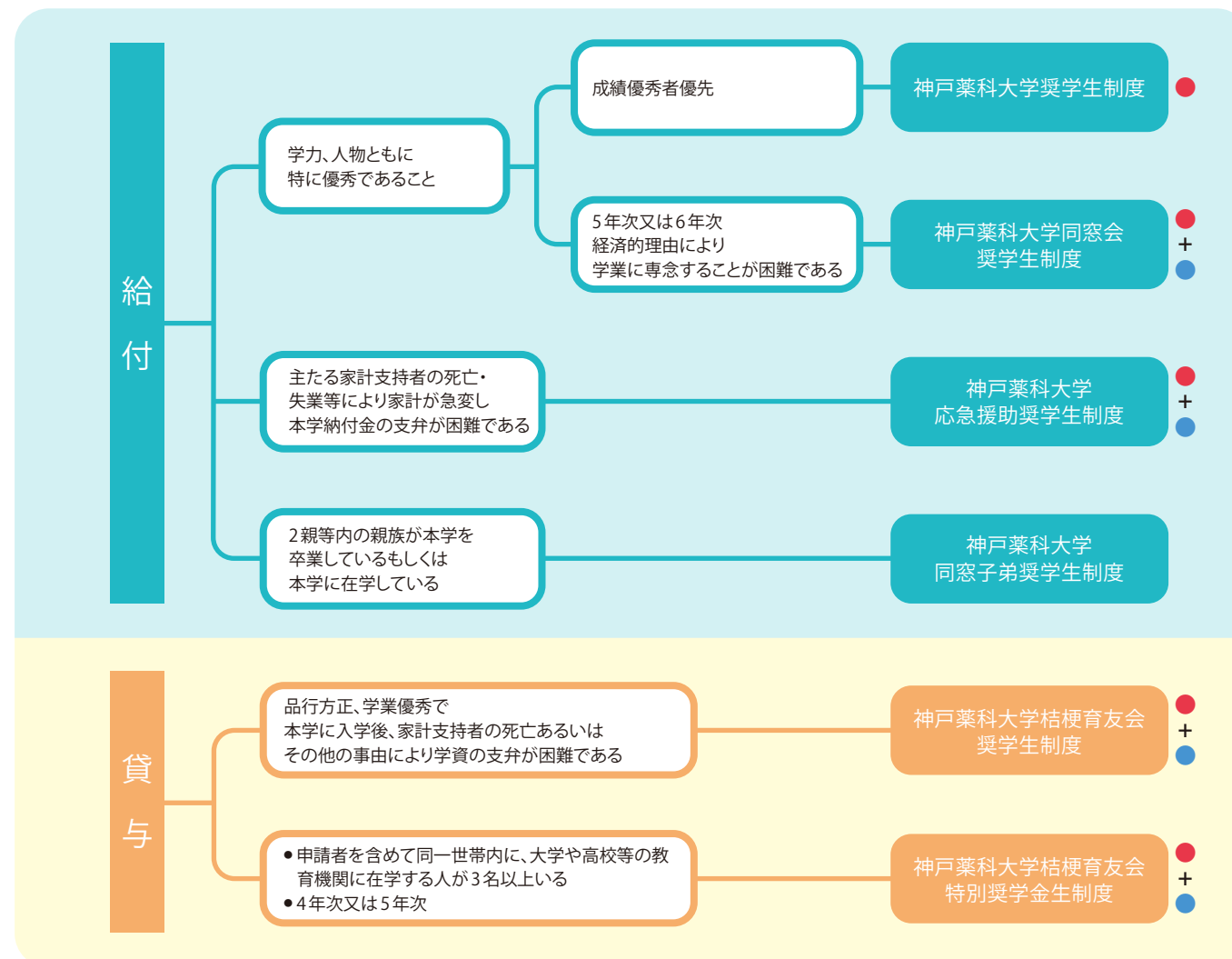


主な奨学金制度

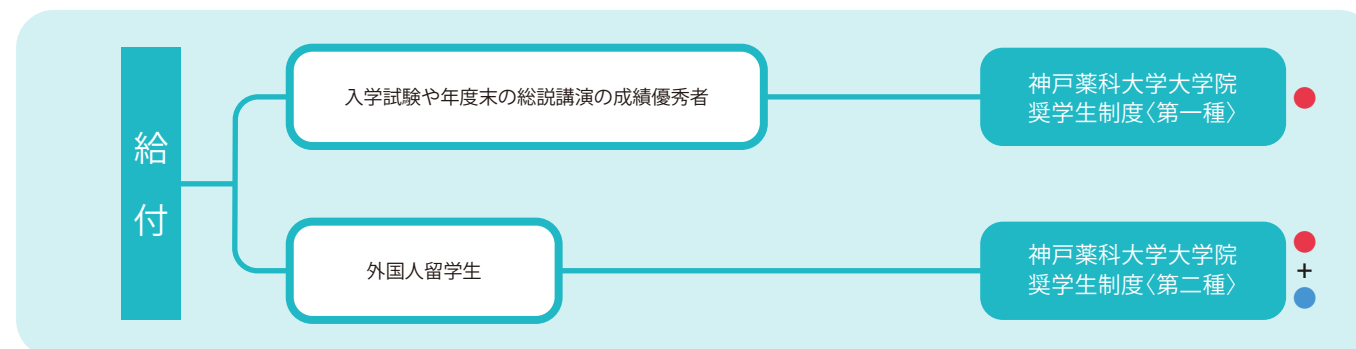
※下記のほかにも別途資格・要件がある場合があります。

学部在学学生

成績優秀者……………● 経済的困窮者……………●



大学院生



神薬ごよみ

学内のこれからの取組みを
3つのコンテンツでお届けします

MANABI白書
学生の学習・実習報告

Event Report
半期の主な学内イベント

Information
今後の行事・学内外のニュース

神薬ごよみ MANABI白書

改訂コアカリに基づく実務実習がスタート

病院・薬局実習(長期実務実習)(5年次)

改訂コアカリでは6年制薬学教育の主要な科目である「長期実務実習」も変わりました。学習成果基盤型教育(OBE)に則(のつと)り、より実践的な臨床実習を取入れることに着目し、評価方法もルーブリック評価が導入されました。OBEの実施により、臨床能力に長(た)けたパフォーマンスを身につけた実習生の育成に期待が持てます。

これまでの実務実習との主な変更点は以下の通りです。

- 薬局実習、病院実習の順番で連続した22週間の実習を行う。
- 第1期の薬局実習は4年次の2月より開始される。
- 指導者による評価が、SBOごとの評価からルーブリック評価に変更された。
- 近畿地区では病院と薬局でグループを形成し、その中で大学が主体となりより連携を深めた実習を行うように努める。



豊田 真世子さん

田内 義彦 教授

森本 万智子さん

座談会メンバー

5年 豊田 真世子さん
1期:薬局実習 2期:病院実習
(2/25~5/15) (5/27~8/11)

5年 森本 万智子さん
1期:薬局実習 2期:病院実習
(2/25~5/15) (5/27~8/11)

田内 義彦 教授
(薬学臨床教育・研究センター)

座談会

「将来どんな薬剤師になりたいか。
常に自分が働く姿を想像しながら
取り組みました」(森本さん)

「何でも吸収しようと
積極的に取組めば、
いろんな気づきが得られます」(豊田さん)

田内 義彦 教授をインタビューに、長期実務実習に参加した学生の話をお聞きました。



田内教授(以下敬称略) 森本さん、豊田さん、長期間の実務実習お疲れさまでした。それぞれのどのようなことを学んできたのか聞かせてください。

森本 薬局実習では、毎週自宅に訪問する患者さんを担当させていただくなど、在宅医療にかかわることができました。

田内 それは貴重な体験でしたね。



森本 1人の患者さんと深く向合えたのはよかったのですが、高齢の患者さんということもあり、コミュニケーションも服薬コンプライアンスを維持していただくことも難しかったです。

豊田 実際の患者さんに接すると、コミュニケーションの難しさを痛感します。特に薬局薬剤師には高いスキルが必要だと思いました。

田内 それはどうして?



豊田 病院だと処方鑑査はカルテで確認できますが、薬局では処方履歴や薬歴などを、患者さんから聞き出さなければなりませんから。

田内 特に新規の患者さんはそうですね。どうやってコミュニケーションを取りましたか?

豊田 できるだけ患者さんが話しやすい雰囲気を作ることを心がけました。

森本 豊田さんはどのようなキャリアプランを考えていますか?

豊田 病院薬剤師の仕事に魅力を感じていましたが、実務実習でいろいろな方からお話を聞く機会があり、進路選択の幅が広がりました。

森本 私は病院薬剤師になりたいと思っていましたが、ほかの進路に変わりました。



田内 そうですか。お2人は薬局実習での知識や経験を病院実習で生かせたと思うのですが……。もしかして、病院実習はつらかったのですか(笑)?

豊田・森本 とんでもないです!



豊田 緩和ケアチームに加えていただいて、医師や看護師から薬に関する質問や意見を求められました。薬の専門家として頼られていることが、とてもうれしかったですし、チーム医療における薬剤師の役割も再認識できて有意義でした。



森本 実は、病院実習で、がん患者さんのお話を聞く機会がありました。副作用のリスクに不安を抱きながら、限られた治療薬の中から薬を選択しなければいけないというお話にもどかしさを感じ、臨床開発の道に進みたいと考えようになりました。

田内 病院ではCRC(治験コーディネーター)のお話も聞けましたか?

森本 はい。病院からその機会をいただきました。

田内 病院や薬局には様々な医療関係者が訪問されるので、実務実習は、いろいろな職業

に触れる絶好のチャンスです。実習先の指導薬剤師に相談すれば、森本さんのような機会を設けてくれますよ。



豊田 いろいろな方に相談して、何でも吸収しようと積極的に取組むことが大切だと思いました。積極的なほど、多くの気づきが得られますから。

田内 さて、これから実習に参加する学生にアドバイスはありますか?

豊田 私は、業務の効率化を図るための手段や、正確な調剤を行うための工夫など、同じ業務でも病院と薬局では取組み方に違いがあることに気づきました。それがきっかけで、どのような工夫や取組みをしているところで薬剤師として活躍したいかということを考えました。将来の進路を決める意味でも、病院も薬局も様々な視点で見えてほしいです。



森本 私は進路決定のヒントを得ることを目標に実習に参加しました。自分が将来どんな薬剤師になって、どのように患者さんに貢献したいかを考え、常に自分が働く姿を想像しながら取り組みました。実務実習で何を学んだのかを明確にしてから参加すると、実りのあるものになると伝えたいです。



田内 素敵なお話をありがとうございました。これからも勉強や研究活動、そして薬剤師国家試験合格に向けて頑張ってください。

神薬ごよみ Event Report

OPEN CAMPUS 2019

2019年7月27日(土)・28日(日)、8月4日(日)・10月5日(土)に受験生や保護者の方などを対象にしたオープンキャンパスを開催しました。当日は多くの学生がサポーターとなり、受付や相談コーナーの対応などで盛り上げてくれました。

7、8月のオープンキャンパスは、より気軽に参加いただけるよう、最寄り駅と本学の間に初めて無料シャトルバスを運行。10月のオープンキャンパスは、ききょう祭と同日開催し、本学の魅力を学生と一緒に体験していただきました。

なお、「高校教員及び予備校担当者向けのオープンキャンパス」は、2019年6月18日(火)・20日(木)に開催しました。



学生サポーター



受付



無料シャトルバス



キャンパス見学



体験実習



相談コーナー



研究室見学



学長による大学紹介 宮田 興子 学長



入試部長による進学説明会 小西 守周 教授



保護者向け学生生活紹介
キャリア支援部長による説明 向 高弘 教授



卒業生からのメッセージ

第20回公開市民講座 地域連携

2019年5月18日(土)、本学において公開市民講座を開催しました。午前の部の講演会では、講演終了後に質問が相次ぐなど、参加いただいた皆さんの健康に対する関心の高さがうかがえました。また、午後の部の健康サポートイベントでは、長蛇の列ができるほどの人気ぶりでした。



宮田 興子 学長



清水 健氏



江本 憲昭 教授

実施イベント

講演会

講演テーマ:「大切な人の『想い』とともに…」 清水 健氏(一般社団法人清水健基金 代表理事)

講演テーマ:「健康長寿のための賢い医療機関とのつきあい方～循環器内科医の立場からのメッセージ～」
江本 憲昭 教授(本学 臨床薬学研究室)

講演テーマ:「神戸薬科大学の知の還元～これまでとこれから～」 宮田 興子 学長

※プログラム順

イベント

おくすり・健康相談(東灘区薬剤師会) / AED講習(東灘消防署) / 肺年齢測定(東灘区役所) / 健康機器を使った体重・血圧・骨密度・体脂肪・肌年齢・血管年齢など健康度測定(ココカラファイン) / アロマハンドマッサージ(アイグレイ・セラピストアカデミー・本学IPW同好会) / ハーブティーサービス(本学生薬部) / 模擬患者(SP)さんになってみませんか?(本学薬学臨床教育・研究センター) / 薬用植物園見学

()は協賛先、協力団体

教育改革及び学内共同研究プログラム 2018年度 公開報告会 教育・研究

2019年7月9日(火)に、学長裁量経費に基づく「教育改革プログラム」及び「学内共同研究プログラム」の公開報告会を開催しました。



「教育改革プログラム」は教育の充実・発展を図る新規の授業改善を推進、「学内共同研究プログラム」は老化に関する研究を推進する内容となっており、それぞれ学内公募で採択された7件と15件の成果報告を行いました。

2019 カレンダー

6月	8日	TOEIC® L&R IPテスト
	23日	4・5年 大学推薦制インターンシップ応募者の面接
	30日	4・5年 単位制インターンシップ参加者 事前説明会・報告会打合せ
7月	4日	前期終講日
	9日	教育改革プログラム公開報告会 学内共同研究公開報告会
	12日	前期定期試験
	25日	夏季休暇入
	27・28日	オープンキャンパス
8月	4日	オープンキャンパス
	9日	わくわくサイエンススクール
	11日	5年 病院実習・薬局実習終了(2期:5/27～8/11)
	22日	5年 第3回就職ガイダンス
	26日	5年 病院実習・薬局実習開始(3期:8/26～11/11)
	27日	前期追再試験(7日間)
9月	9日	1年 初期体験臨床実習(全体オリエンテーション・講演会)
	13日	1年 初期体験臨床実習(全体発表会)
	20日	後期開講日
	21日	5年 病院実習・薬局実習報告会(1期～2期グループ)
10月	5日	ききょう祭 オープンキャンパス
	21日	全学防災避難訓練
	26日	桔梗育友会秋季役員会 3・4・5年 インターンシップ報告会・情報交換会
11月	3・4日	薬剤師のためのワークショップ(本学)
	9日	桔梗育友会総会／保護者懇談会 保護者のための就職ガイダンス
	10日	地方保護者懇談会(高松、広島、福岡)
	11日	5年 病院実習・薬局実習終了(3期:8/26～11/11)
	16日	TOEIC® L&R IPテスト
	17日	Student CASP ワークショップ
	21日	5年 集団面接・グループディスカッション 実践トレーニング
	23日	推薦入学試験
	24日	ホームcomingデー
	25日	5年 病院実習・薬局実習開始(4期:11/25～2/16)



2020年度 入試スケジュール

学部入学試験	出願締切日	試験日
推薦入学試験(公募制・併願可)	2019年11月12日(火)	2019年11月23日(土・祝)
大学入試センター試験利用入学試験	2020年1月21日(火)	2020年1月18日(土)・19日(日)
一般入学試験(前期)	2020年1月21日(火)	2020年2月4日(火)
一般入学試験(中期)	2020年1月24日(金)	2020年2月12日(水)
一般入学試験(後期)	2020年2月28日(金)	2020年3月6日(金)

出願締切日:消印有効、窓口に持参の場合は翌日午後5時必着(土・日曜・祝日除く)

大学院入学試験	出願締切日	試験日
修士課程(薬科学専攻) 一般2次・社会人特別選抜	2020年2月28日(金)	2020年3月7日(土)
博士課程(薬学専攻) 一般2次・社会人特別選抜2次	2020年2月28日(金)	2020年3月7日(土)

出願締切日:郵送の場合は書留便にて締切日必着



詳細は
入試情報サイトを
ご確認ください

人事・受賞者・寄付金受納

【人事】

●採用	
非常勤職員 舟辺 隆之(キャリア支援部キャリア支援課)	2019年10月1日付
●退職	
(依願退職) 准教授 森脇 健介(医療統計学研究室)	2019年9月30日付
●昇任	
助教 北條 寛典(衛生化学研究室)	2019年10月1日付

●異動

課長補佐 灰谷 淳治 入試部入試課(事務局経理課)	
課長補佐 橋本 和歌子 事務局施設課(キャリア支援部キャリア支援課)	
主査 藤本 真紀子 教務部教務課(薬学臨床教育・研究センター)	
事務員 樋渡 郁哉 事務局経理課(事務局総務課)	以上2019年8月1日付

〈受章・受賞・表彰〉

名誉教授 西庄 重次郎 2019年春の叙勲 瑞宝小綬章	2019年5月21日付	6年 松田 芳明 製剤学研究室 第35回日本DDS学会学術集会優秀演題賞	2019年7月5日付
特別教授 畑 公也 2019年兵庫県功労者表彰(学術教育功労)	2019年5月3日付	5年 金山 裕孝 製剤学研究室 第3回日韓若手薬剤学研究者ワークショップトラベルグラントアワード	2019年7月11日付
特別教授 岡野 登志夫 平成30年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員表彰	2019年6月30日付	5年 田村 大樹 製剤学研究室 第3回日韓若手薬剤学研究者ワークショップトラベルグラントアワード	2019年7月11日付
助手 横山 郁子 薬学臨床教育・研究センター 令和元年度一般社団法人日本緩和医療薬学会優秀論文賞	2019年6月2日付	6年 立本 愛 薬理学研究室 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2019優秀ポスター発表賞	2019年8月31日付
6年 堀部 里帆 薬学臨床教育・研究センター 令和元年度一般社団法人日本緩和医療薬学会優秀演題賞	2019年6月2日付		
5年 阿部 菜里 微生物化学研究室 日本薬学会生物系薬学部会第20回Pharmaco-Hematologyシンポジウム優秀発表賞	2019年6月8日付		
6年 前川 裕希 薬学臨床教育・研究センター 日本医療薬学会第3回フレッシュ・カンファランス優秀演題発表賞	2019年6月16日付		

〈寄付〉

阪神調剤ホールディング株式会社
桔梗育友会

課外活動報告(体育賞の表彰)



硬式テニス部

第73回関西薬学生連盟硬式庭球大会 男子団体戦優勝

2019年11月9日(土)、部活動で優秀な成績を修めた団体に表彰が行われました。これからも学業だけにとどまらない活躍を期待しています。

2019年5月～11月 学生の受賞・表彰



6年
堀部 里帆さん
(薬学臨床教育・研究センター)



5年
阿部 菜里さん
(微生物化学研究室)



6年
前川 裕希さん
(薬学臨床教育・研究センター)



ホームページ
「学生の活躍」でも
紹介しています

第13回日本緩和医療薬学会年会
令和元年度一般社団法人日本緩和医療薬学会
優秀演題賞
受賞タイトル
「がん教育実施による
中学1年生の死生観の変化」

日本薬学会生物系薬学部会
第20回Pharmaco-Hematologyシンポジウム
優秀発表賞
受賞タイトル
「分泌型ヘムタンパク質 Neudesin による
赤血球代謝調節機構の解析」

日本医療薬学会
第3回フレッシュ・カンファランス
優秀演題発表賞
受賞タイトル
「免疫チェックポイント阻害剤ニボルマブによる
免疫関連有害事象発現予測因子の探索」



6年
松田 芳明さん
(製剤学研究室)



5年
金山 裕孝さん
(製剤学研究室)



5年
田村 大樹さん
(製剤学研究室)



6年
立本 愛さん
(薬理学研究室)

第35回日本DDS学会学術集会
優秀演題賞
受賞タイトル
「鼻腔内投与された
Oxytocinの脳内移行性」

第3回日韓若手薬剤学研究者ワークショップ
トラベルグラントアワード
受賞タイトル
"Effects of Gastrointestinal Content
on Intestinal Absorption of Drugs"

第3回日韓若手薬剤学研究者ワークショップ
トラベルグラントアワード
受賞タイトル
"Transnasal Delivery of a Bioactive
Peptide, Oxytocin, to the Brain for
the Treatment of Autism Spectrum
Disorder"

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2019
優秀ポスター発表賞
受賞タイトル
「ミクログリアにおける新規Nrf2-ARE
経路活性化物質による炎症性サイトカインの
抑制作用とその機序の解析」

＊部活動レポート＊

硬式テニス部



関西薬学生連盟庭球大会で男子団体戦 **2連覇** を達成!



部長
3年 薦田 哲志さん

男女問わず、みんなで楽しくテニスの練習に励み、遊ぶときは遊ぶ、練習するときは本気で行うといったメリハリのある部活動です。テニス好きな部員ばかりなので夜遅くまで練習しています。部の自慢は卒業生が積極的に部活動に参加してくださることです。この交流を通じて、様々な人とのつながりが深められましたし、コミュニケーション能力も向上しました。2020年は関西薬学生連盟庭球大会で男女共に団体戦優勝、個人戦優勝が目標です。



関西薬学生連盟庭球大会

毎年8月に石川県立能都健民テニスコートで行われています。今年は8月13日～22日に開催。男子は10大学、女子は9大学が参加しました。



関西薬学生連盟硬式庭球大会にて



男子団体優勝の表彰式

活動内容

顧問 沖津 貴志 講師 部員 44名

活動日: 毎週火曜日・木曜日・日曜日

戦績・活動報告

第72回関西薬学生連盟庭球大会(2018年) 男子団体優勝、女子団体優勝
男子個人戦優勝

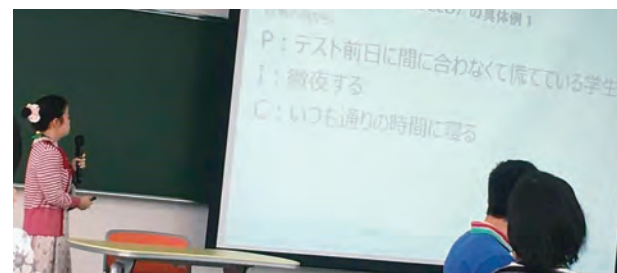
第73回関西薬学生連盟庭球大会(2019年) 男子団体優勝、女子団体5位

EBM 研究会

※EBM…根拠に基づく医療(Evidence-Based Medicine)



実際の現場で活躍されている医療関係者とディスカッション&ワークショップ!



EBM概論のレクチャーを行いました



シナリオについてディスカッション中

CASPで全体セッションをプレゼン

前会長
5年 前田 知美さん



どんな意見も尊重し反映され、気兼ねなく「わからない」と言合える研究会です。堅苦しい雰囲気はなく、皆で楽しく論文を読んでいます。活動を通じて、論文を正しく批判的吟味し、患者さんにどのように適応していくのかというスキルが身につきましたし、多くの勉強会に参加して、様々な職種の方とつながることができました。今は私たちが開催する勉強会の準備中。外部開催の勉強会に積極的に参加して、題材となる情報を得られるよう取組んでいるところです。



※ Student CASP

症例を示したシナリオをもとに、患者にどのような治療を適用するかをディスカッションするワークショップ。参加者は医療関係者や教員、学生など。本学では「多職種協働」を体験できる機会として2010年度から導入しています。

活動内容

顧問 田内 義彦 教授 部員 11名

6月と11月の神戸薬科大学Student CASP®の準備を行っています。薬局や病院、他大学で開催される勉強会にも参加しています。

活動報告

2019年8月17日に広島国際大学呉EBM研究会との第一回合同勉強会を本学で行いました。私たちは、会場設営や先生への講演のお願い、プログラム作成、懇親会の企画などを担当。3か月に及ぶ企画でしたが無事成功させることができました。

★ ★ ★ 大学生活ニュース ききょう祭

2019年10月5日(土)に神戸薬科大学大学祭「ききょう祭2019」を開催しました。「挑戦～ NEVER GIVE UP NEW GENERATION～」をテーマに、思い出に残る大学祭となるよう実行委員一同、様々なことに挑戦しました。

当日はあいにくの曇り空でしたが、令和最初の大学祭は大盛況のうちに無事終了しました。ご来場いただきました皆様、開催にあたりご協力いただきました方々へ、感謝を申し上げます。



パンフレット

Live Performance



Snapshot



Food Booth



Short Movie



主な当日のイベント

- 模擬店(飲食・ゲーム・ハンドマッサージなど)
- おばけ屋敷
- インスタコーナー
- クラフトコーナー
- 音楽LIVE(軽音楽部・ダンス部・箏曲部)
- ショートムービー上映
- 劇団EXILE 佐藤 寛太さんトークショー など

ききょう祭実行委員会



Comment ききょう祭実行委員長



みんなの思いが詰まった「ききょう祭」という作品を感じてほしい!

来てくださった方に、私たちの様々な思いが詰まった「ききょう祭」という作品を全身で味わってほしいと、どのイベントも力を合わせて頑張りました。ききょう祭実行委員会は約70人。大勢で作品を作り上げていく過程はとても面白かったです。委員長の責任と重さから初めてわかることも多く、苦労したこともありましたが、新たな視点で物事を見られるようになるなど、数え切れないほどのいいことが得られました。ききょう祭を楽しんでくださった皆さんに、私たちの思いが伝わったなら、うれしい限りです。

2年 高橋 彩加さん



研究活動

受賞報告 薬学臨床教育・研究センター 横山 郁子 助手

第13回日本緩和医療薬学会年会において、令和元年度一般社団法人日本緩和医療薬学会優秀論文賞を2019年6月2日付で受賞しました。

受賞タイトル

「中学生に対するがん教育の実施および生徒の意識変化」(日本緩和医療薬学雑誌第11巻3号掲載)

◆ 研究概要

がんは日本人の約2人に1人が罹患し、3人に1人が死亡するなど、非常に身近な疾患です。がん対策推進基本計画(第2期)にはがん教育が組込まれ、2017年3月に告示された中学校の学習指導要領にがん教育が記載されました。がん教育とは、「がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通じて、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育」と定義されており、単にがんに対する知識を学ぶ場ではなく、人格形成の向上も要求されています。

そこで薬学臨床教育・研究センターでは、2016年に神戸大学附属中等教育学校と連携し、中学1年生に対して、「保健体育」「特別の教科 道徳」「総合的な学習の時間」の3教科を使用し、教科横断的な学習として、がん教育の定義に準じたがん教育プログラムを作成、実施しました。

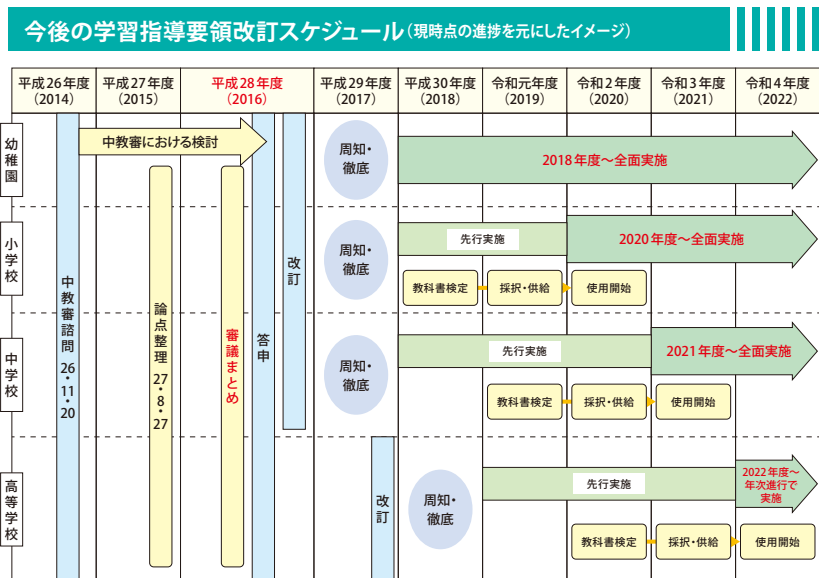
がん教育プログラムの前後にアンケートを実施し、生徒の意識変化を調査したところ、がん教育により、がんの正しい知識が身につくだけでなく、がんという一つの疾患を通じて、「死は怖く悲しいことで誰にでも平等にやってくるが、今あるものの大切さに気づかされた」「感謝の気持ちが生まれた」など、道徳の分野においても教育効果がありました。

一方、生徒が家族と情報を共有することで、がんの予防や早期発見の重要性に対して親世代にも波及効果が認められました。

これらの研究成果に対し、令和元年度日本緩和医療薬学会優秀論文賞を受賞いたしました。



薬学臨床教育・研究センター 横山 郁子 助手



◆ がん教育の効果

「がんは身近な病気である」「将来、がん検診を積極的に受けようと思う」など、がん教育により生徒に正しい知識が身につきました。

がん教育実施前後における生徒のがんに対する知識の変化

	授業前 (%)				授業後 (%)				p 値
	はい	いいえ	わからない	無回答	はい	いいえ	わからない	無回答	
がんは身近な病気である	70.8	14.2	15.0	0	95.6	0.9	3.5	0	$p < 0.001$
全てのがんは1つの病気として考えることができる	54.0	31.9	14.2	0	46.9	43.4	9.7	0	0.021
がんの治療の目的は完治(完全に治る)することである	31.0	35.4	32.7	0.9	7.1	79.6	10.6	2.7	$p < 0.001$
がんは移る(感染する)病気である	10.6	62.8	26.5	0	6.2	87.6	4.4	1.8	$p < 0.001$
がんはすぐに死に至る病気である	9.7	71.7	18.6	0	1.8	93.8	4.4	0	$p < 0.001$
緩和ケアという言葉を知っている	24.8	57.5	17.7	0	90.3	6.2	3.5	0	$p < 0.001$
がんは食事や運動など生活習慣が関係する	85.8	0.0	14.2	0	92.0	1.8	6.2	0	0.167
喫煙とがんの発病には関係はない	3.5	88.5	8.0	0	0.0	96.5	3.5	0	0.022
がんは特定の人が発症する病気である	1.8	70.8	27.4	0	0.0	94.7	5.3	0	$p < 0.001$
将来、がん検診を積極的に受けようと思う	68.1	1.8	30.1	0	92.9	0.9	6.2	0	$p < 0.001$

n=113, McNemar 検定

◆ 今後の展望

2016年より学年縦断的ながん教育を目指して実施しており、現在は中学2年生に「顕微鏡を使ってがん細胞をみてみよう」(2017年度～)、中学3年生に「小児のがん」(2018年度～)、高校1年生に「がんになった時のお金の話」(2019年度～)を行い、がん教育を継続しています。

がん教育を受けた生徒たちが大人になったとき、がん患者さんに寄添う社会が実現することを目指して活動しています。

がん教育の学年縦断的实施

実施年度	実施学年	内容
2016年度	中学1年生(継続中)	◆ がんに対する正しい知識 ◆ 健康ってなに? ◆ いのちの授業(保健体育・道徳・総合的な学習の時間)
2017年度	中学2年生(継続中)	◆ 顕微鏡を使ってがん細胞をみてみよう(保健体育・理科)
2018年度	中学3年生(継続中)	◆ 小児のがん(保健体育・道徳)
2019年度	高校1年生	◆ がんになった時のお金の話(保健体育・社会)

エクステンションセンター

第12回神戸薬科大学 エクステンションセンターシンポジウムを開催「近未来の医療と薬剤師 -生き残るために何をすべきか-」

2019年9月29日(日)に、ききょう記念ホールにて「第12回神戸薬科大学エクステンションセンターシンポジウム」を開催しました。テーマは「近未来の医療と薬剤師 -生き残るために何をすべきか-」。厚生労働省が2019年4月に出した「調剤業務のあり方について」と題する通知で、非薬剤師が実施可能な薬局での業務内容を示したこともあり、厚生労働省担当者、医療関連のキャリアコンサルタント、現役の薬剤師がそれぞれの観点から方向性を提示しました。参加者から活発な質問や発言がなされるなど、薬剤師のこれからを考える機会として、大変有意義なシンポジウムとなりました。



参加者コメント(アンケートから抜粋)

知りたい内容が網羅されており、大変勉強になった。

現場に持ち帰り、やるべきことをしていきます。参考にさせていただきます。

薬剤師のあるべき姿が患者さんのフォローアップまで含めてということだと確認しました。

アフターフォローを積極的に行い、ただ薬を渡すだけの関係を変えていかなければならないと感じた。

プログラムが良く練られていると感じた。

薬剤師の現況を認識でき大変参考になった。

まだまだ薬局薬剤師ができることがあるのが改めてわかった。

大きな薬局、小さな薬局、いろいろな形がある現在で、一律にはこうであると言えないこともありますが、一案として考えさせられることはありました。



地域連携サテライトセンター

小学生向けイベントわくわくサイエンススクールを開催

2019年8月9日(金)、地域連携サテライトセンターにて「2019年度 神戸薬科大学 わくわくサイエンススクール」を開催しました。本イベントは東灘区在住の小学生を対象とした体験プログラムで、神戸市東灘区役所に後援をいただいています。参加した小学生は52名で、「酸とアルカリを判定してみよう!」をテーマに、台所にあるものを使ってキッチンサイエンスを体験しました。当日は13名の学生ボランティアが小学生をサポートしました。参加者からは「小学校ではできない体験ができて楽しかった」「もっと科学に興味を持って、いろいろな実験をしたい」などの感想をいただきました。

地域連携サテライトセンターでは、このほかにも、毎月一般市民向けにイベントを開催しています。



宮田 興子 学長



高尾 宜久 臨床特命教授



上田 昌史 教授(薬品化学研究室)



大学の理念

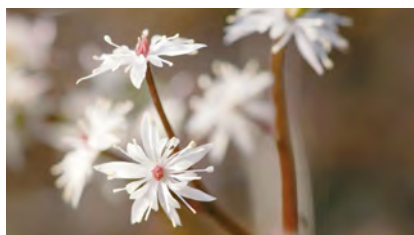
社会に大きく開かれた大学であることを意識し、
創立以来の伝統である教育と研究の両立を基盤としながら、
医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、
高度な薬学の知識を身につけた薬剤師、
並びに教育・研究者を養成すること、
さらに地域の医療と環境問題に目を向けて
健康の維持・増進にも貢献できる拠点となること

教育目標

1. 広い視野を持ち社会に貢献できる高度な薬学の知識と技能を修得すること
2. 医療人としての使命感と倫理観を涵養すること
3. 科学的思考力及び問題の主体的解決能力を修得すること
4. これからの医療と環境を正しく理解し、健康の増進に貢献できる知識を修得すること
5. 医療人として相応しいコミュニケーション能力を修得すること

薬用植物園

早春の花



オウレン

(和名:オウレン 科目:キンボウゲ科 見ごろ:3月頃 生薬名:黄蓮(オウレン))

オウレンは根茎に黄色いベルベリンという成分を含む、『日本薬局方』にも収載されている重要な薬用植物です。苦味健胃薬として健胃・整腸・下痢止めなどに効果があります。

静かな冬の薬用植物園も、オウレンの花が咲き始めるのを合図に、地中に眠る芽や固く閉ざしている蕾(つぼみ)とともに少しずつ動き始めます。



ホームページは
こちら



大学認証評価

神戸薬科大学は、公益財団法人大学基準協会による大学評価基準に適合していると認定されています。



6年制薬学教育プログラム評価

神戸薬科大学は、一般社団法人薬学教育評価機構が定める「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定されています。